

第40回全国在日外国人教育研究集会・奈良大会にご参加を！

多文化共生社会の実現のための教育を創造しよう

第40回全国在日外国人教育研究集会（奈良大会）

本研究集会は、第四〇回を迎えました。そして、第三〇回奈良県外国人教育研究集会との同時開催で行います。どちらの集会も節目の大会となります。

全外教は、在日コリアンへの差別撤廃や進路保障のとりくみを出発点に、外国につながる子どもたちや日本の子どもたちの自立と連帯の場づくりを保障する運動や実践にとりくんできました。また、全国の在日外国人教育や多文化共生教育に関する教育関係者やNPO関係者等と呼びかけ、日頃のとりくみやさまざまな課題を出しあい交流する場として、全国在日外国人教育研究集会を開催してきました。今回も「多文化共生社会実現のための教育を創造しよう」をテーマとして開催いたします。

昨年、「経済財政運営と改革の基本方針二〇一八」（六月一五日・骨太の方針）が閣議決定され、日本政府は本格的な外国人労働者受け入れに舵を切りました。これを受け、「外国人材の受け入れ・共生のための総合的対応策（案）」が示され、「出入国管理及び難民認定法」を改定し、本年四月に施行することとなりました。法案審議においても政府や首相の口から「多文化共生社会の実現」といった言葉が発せられるも、中身の無い、実態を踏まえないものとなっています。

私たちは、それぞれの文化を持つ人々が、自らの文化を隠さざるを得ないように仕向ける日本社会のありようを変革したいと考えています。各自のちがいをあたりまえのこととして受けとめ、それをもって差別や排外に転嫁するのではなく、むしろ人と人との関係の中で、より豊かなものにしていく方向に変えていきたいと思えます。在日外国人教育のとりくみを全国各地で積極的に推進させる必要があります。差別と排外を生み出す土壌そのものを変えなければ、私たちがめざす多文化共生社会は実現されようはずがないからです。

「ヘイトスピーチ解消法」が施行され、本年六月で三年になります。しかし、ヘイトスピーチ等が後を絶たない状況に、子どもたちが晒されています。さらに、子どもたちがヘイトスピーチの被害者となるだけでなく、加害者となる事例も報告されています。友から差別を受けた子どもの傷はより深刻であり、加害の側は差別煽動に騙されていることに気がつきません。目の前の実態を掘り起こし、子どもたちを被害者にも加害者にもしないとりくみを進める必要があります。

この間、これまでの研究集会を通して、在日外国人教育の不十分性が問われてきました。また、「期限を附さない常勤講師」問題の解決や人権面でのインフラを整備するための、外国人基本法や人種差別撤廃法、国内人権機関の設立なども実現させることが大切です。本研究集会では、多文化共生社会実現にむけ、各現場での実践を持ち寄り交流し、課題解決に向けた議論を深めたいと思います。

是非、奈良大会にご参加いただきますようお願いいたします。



第39回全外教京都大会・生徒交流会アピール

□日程・内容 《2019年》

全国在日外国人生徒交流会

8月8日（木）～9日（金）
生駒山麓公園ふれあいセンター
（生駒市俵口町 2088）

開会行事・全体会

8月9日（金）
奈良県社会福祉総合センター
（橿原市大久保町 320-11）
近鉄畷傍御陵前駅下車すぐ

分科会

8月10日（土）
奈良県社会福祉総合センター
（橿原市大久保町 320-11）
近鉄畷傍御陵前駅下車すぐ

□参加資料代

3,000円

□申し込み

当日会場にて
詳しくは開催要項をごらん下さい。後日、全外教のサイトに掲載します。

<http://www.zengaikyo.org>

主催：全国在日外国人教育研究協議会

後援：奈良県・奈良県教育委員会・生駒市教育委員会 他（申請予定）

連絡先：奈良市大安寺 1-23-1 奈良県外国人教育研究会 tel:0742-62-5555 fax:0742-62-5568 e-mail:nagaikyo@m3.kcn.ne.jp